

鳥取県内でも、**幼保小の架け橋プログラム**に取り組まれる小学校等、園が増えていきます。

【**幼保小の架け橋プログラム**】のねらい（一部抜粋）
○幼児期から児童期の発達を見通しつつ、5歳児の
カリキュラムと小学校1年生のカリキュラムを一体的
に捉え、地域の幼児教育と小学校教育の関係者が
連携して、**カリキュラム・教育方法の充実・改善**に
あたることを推進する。 第4次改訂版 鳥取県幼児教育振興プログラム より

子どもの育ちと学びをつなぐための「3つの『つなぐ』」



幼保小の架け橋プログラムについて
(文部科学省ホームページ)



「幼保小の架け橋プログラム」は、何をを目指すのか？

～ 幼保小連携・接続の「これまで」と「これから」～

子供たちにしっかりと学びの基礎を育む！

	これまで	これから
目的	小学校への順応	学びの連続 カリキュラム
内容	交流活動	カリキュラム編成
期間	数か月 スタートカリキュラム いわゆる アプローチカリキュラム	2年（架け橋期） カリキュラム編成
実施単位	施設単位	地域単位 体制

令和7年度 鳥取県幼児教育推進研究協議会 資料より

うちの小学校区では、昨年度に
架け橋期のカリキュラムを作成し
終わったので、「教育をつなぐ」ため
の取組ができていると言えますか？

子どもたちは、今年度の校区の期待する子どもの姿
に近づいていますか？架け橋期のカリキュラムを作成
することがゴールではありません。教育がつながって
いるか**評価し、改善していく**ことが大切です。

STEP1 架け橋期のカリキュラムを作成

- 今、実施している交流・見学・体験について、事前事後の**対話**の機会を持ちましょう。
- 園と学校で**期待する子どもの姿（めざす子どもの姿）**を共有しましょう。
- 幼保小合同研修会**を実施し、「幼保小の架け橋プログラム」について学びましょう。



【米子市の実践例】



お役立ち情報（R7.1）

STEP2 カリキュラム・教育方法を充実・改善

【実践例】「幼保小の架け橋プログラム推進事業」実施校区（日野学園・ひのっこ保育所）

① 合同研修会
大切にしたい視点を共有する

塩野谷教授の講演会・協議



② 公開授業
授業のねらいを共有する

ねらいを共有した公開授業



③ ワーキンググループでの事後協議
子どもの姿を中心に整理・分析

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」をふまえて



組織的にPDCAサイクルを回し、
保育・教育の充実・改善に
つながってられますね。

☆公開保育で見られた**子どもの姿**を手がかりに、
架け橋期のカリキュラムの見直しをする。
☆自身の保育、教育の改善につながる**環境構成や
援助（指導）**について協議する。等



教育をつなぐためには、幼児教育・小学校教育の**相互理解**が欠かせません。
それぞれの教育内容や子どもの姿について**対話**することが大切です。

第2回幼保小接続推進研修会（オンライン開催）

日時：令和8年2月5日（木）

午後1時00分から午後3時30分まで

内容：実践発表（日野町・鳥取市・岩美町）

指導助言・講義

北海道教育大学教職大学院

渋谷 一典 教授



ぜひ、参加をご検討ください！！

この研修を校区の園・小学校・義務教育学校
等の合同研修会として同じ場で一緒に受講し、
今後の取組について話し合うとより効果的です。
参加申し込みは、12月16日付けで小中学校
課より通知しております開催要項等を御確認
ください。